

兵頭秀一 2025年葛飾区長選挙 立候補予定 記者会見資料

1. 基本情報

(1) 氏名、生年月日

兵頭秀一（ひょうどうしゅういち） 1965年4月11日生まれ60歳

(2) 学歴

東京経済大学経営学部経営学科卒（1988年＝昭和63年3月卒）

(3) 職業

株式会社ちかなり 代表取締役社長

事業内容：就職サイト運営、メダカ専門店運営、不動産経営等

起業家、会社経営、就職および人事制度改定コンサルタント、カメラマン

(4) 出身地と住所

東京都葛飾区在住。出身地は埼玉県越谷市、成人後に都内へ転居

国分寺市→昭島市→福生市→青梅市→台東区→北区→足立区→葛飾区

(5) 職歴

大卒～28歳（株）いなげや店舗勤務（食品スーパー上場企業：当時）

28歳～30歳 （株）いなげや人事部労務厚生課長代理

31歳～34歳 （株）いなげや人事部採用責任者

34歳～38歳 （株）ダイナム人材開発部 新卒採用責任者

39歳～41歳 （株）ワイズノット人事総務部マネージャー採用責任者

42歳～（株）ちかなり創業、代表取締役社長（現任）

(6) 政治活動歴

- 2025年東京都議会銀選挙青梅市選挙区から無所属で立候補
- 5432票（得票率12.5%）で落選したものの供託金没収は回避
- （7）その他主な活動歴（詳細は兵頭秀一のウィキペディア参照）
- 著書「受かる面接、落ちる面接」あさ出版2017年
- テレビ出演歴30回以上（就職ビジネス、メダカビジネス関連）
- ラジオ番組制作企画、パーソナリティ（2019年～2020年）
- 東京経済大学体育会バドミントン部前監督
- バドミントン青梅市代表元監督
- 株式会社ちかなりバドミントン部監督（全日本実業団選手権出場2回）
- 葛飾区内の金魚愛好会、楽友らんちう会第6代会長（現任）
- （8）SNS等（更新頻度の高いもの）
- Youtube「兵頭秀一チャンネル」登録者4200人、毎日更新中
- 選挙ドットコムブログ、堀切めだかブログ、Facebook

2. 立候補の経緯

（1）政治家への関心

5年ほど前から。長年の会社経営で得たスキル、経験により政治の世界で活躍できる自信を得た。社業は社員他へ委譲しており時間の確保は可能。

（2）「再生への道」への応募

2025年1月15日、石丸伸二氏の再生の道設立記者会見を視聴。政界進出の突破口になると考え行動にシフト。選考は2次webテストで落選したが、無所属で2025都議選への挑戦を決意。30歳台の10年間居住していた青梅市選挙区から出馬。

（3）地域政党「夢党（ゆとう）」設立

再生の道の落選者で同じく無所属での都議選出馬を表明していた矢田一久

(34) 立川市選挙区、林英明(30) 三鷹市選挙区と都議選前の5月に意気投合。首長養成政党「夢党」を設立。夢党の理念は「政治を担い社会を主体的にかえてゆくなら自らが首長に」とし、最大でも議員を8年経験した後は首長選に出馬することを党則としている。

(4) 葛飾区長選挑戦の理由と経緯

- ①半年の政治活動から自身の性格、気質、スキル、経験から最も適しているのは市区町村の首長と判断。年齢(60歳)も丁度よいと考えた。
- ②夢党はその後新人1名も加わり4人で活動は継続中。この政治団体はその理念、メンバーとも誇れるものであり、党勢は拡大していきたい。中でも最年長の私は議員経験を経ず即刻首長へ挑戦すべきと考えた。
- ③ベンチャー起業家としての経験を活かし、貢献できるのは人口や財政の状況が比較的ポジティブな自治体がよい。葛飾区はそれに該当する。
- ④2017年より葛飾区で100坪4階建ての自社ビルに居住。転居の多い人生であったがここを終の棲家にしたい。家族も賛同。
- ⑤首長選挙への出馬は現職がどのような方であるかとの兼ね合いは無視できない。今回の葛飾区は現職の高齢多選を問う点に大いなる意義がある。現区長は4期目の76歳。区役所職員出身。5期目を目指しての出馬はすでに表明。私より1歳上の副区長も区役所職員出身。前区長も区役所職員出身の方が59歳から75歳まで務められた。区役所出身者が32年もの間かじ取りをしているこの自治体こそ私の民間企業での幅広い経験が活かせると考えた。
- ⑥ぎぼはるき氏(再生の道、2025年参議院銀線候補者)との出会い
沖縄県豊見城市の元市長(2期)二歳下のぎぼ氏とは今年3月に出会い深い付き合いをさせていただいている。同氏の市長体験談に感銘、共感
首長職が身近に感じられるようになった。

3. 政策について

(1) 最もこだわることは任期中に葛飾区の人口を減少させないこと

(人口減少は地方自治の諸悪の根源、微増が続く今こそ手を打つ)

(2) 勝利の方程式は壊さない

現職の青木克徳氏をリスペクト。氏の政策、理念はそのほとんどを継承する考え。ここまで積み上げられてきたことや実績の良いところは壊さずしっかりと継承していく。そこに自身の色を加え、青木氏の多選によるしがらみや硬直化した部分は修正を加えていく。青木氏が初当選をされたのは16年前、60歳の時。そして現在私が60歳。私が立候補する意義の最も大きなところは「新旧交代」であると考えている。

(3) とにかく楽しい葛飾区、へ

仕事楽しい葛飾区、学校楽しい葛飾区、趣味楽しい葛飾区・・・

私自身は人生をとにかく楽しむことに主眼を置いている。仕事も楽しく家族との関係は良好。マルチタスクタイプ。バドミントンコーチ、野球のコーチ、金魚愛好会会長、音楽活動（フォークギター）、メダカ飼育、カメラなど趣味は多岐に渡る。私のこれらの経験や性格を活かし、明るく楽しい街づくりをしていく。

4. この三つをしっかりとやっていきます

- ①全体最適思考を土台とした経営判断と意志決定
- ②コミュニケーション（対話と発信、自己開示、説明）
- ③人事（人材育成と適材適所）

5. 所属政党について

「無所属」として立候補する。現在、地域政党「夢党」の幹事長ではあるが、党には議員がおらず知名度がないことから世間には伝わらない。

国政政党には所属していないという事を有権者の皆様にご理解いただくべく、無所属、夢党推薦という形をとる。ちなみに夢党からは堀越あき彦

（４３）が１０月の春日部市長選に出馬予定。堀越も同様に無所属、夢党推薦とする予定。

以上